



**Joint Regional Meeting of IUFRO RG3.03.00 and RG3.06.00 in Asia
Productivity and Safety of Final Cutting on Mountain Forests
IUFRO RG3. 03. 00 と RG3. 06. 00 の合同アジア地域ミーティング
山岳林における主伐の生産性と安全性**

山岳地域の森林作業は、土壌、水、温室効果ガス排出、景観、野生鳥獣、その他生態系サービスを損なう影響を最小限にしながら、地域の状況や現有基盤に適応した生産システムを使う必要がある。その一方で、このような生産システムは、作業の生産性とオペレータの労働安全衛生を意識しなければならない。山岳地域において、人力機械伐倒はいまだ多くの現場で必要とされ、特に困難な地形で労働災害が頻発しているため、生産性と安全性は重要な課題である。また、架線ハーベスタを基礎とする最も進んだシステムは、アンカーとなる伐根あるいは立木の強度の不確かさのために安全性が十分に考慮されているとはいえない。

架線集材に関連して、地形傾斜と伐出される木材量が生産性と労働安全に影響を与える山岳林は考えるべき条件が多い。架線集材は一方で異なる条件下で実行できる解決策を示し、他方でワイヤーの張力と支柱やアンカーとして使う伐根や立木により労働災害のリスクを高めている。

労働科学研究グループと山岳地の森林作業研究グループの合同アジア地域ミーティングは、双方の最近の研究成果と情報を交換し、作業技術と労働科学面から考えられる将来の山岳地の伐出作業について討議し、山岳林の主伐の労働生産性と労働安全を共に向上させる可能性を検討することを目的として開催される。当ミーティングの参加者は、愛媛県で高密度路網によるウィンチ集材作業を、高知県でH型架線集材とオースリア製タワーヤーダーによる集材作業を見学する。

主催：IUFRO (International Union of Forest Research Organizations)RG3.03.00 (Ergonomics) and RG3.06.00 (Forest Operations in Mountainous Conditions)

国際森林研究機関連合 労働科学研究グループ・山岳地の森林作業研究グループ

共催：森林利用学会、愛媛大学大学院農学研究科、高知大学農林海洋科学部

後援：愛媛県、高知県、森林総合研究所四国支所、林野庁

日程：2017年7月24日(月)～7月28日(金)

会場：愛媛大学情報メディアセンター・メディアホール

学識委員会：

Woodam Chung (オレゴン州立大学教授、ユフロ第3部会コーディネーター)

Hans R. Heinimann (チューリッヒ工科大学教授、前ユフロ第3部会コーディネーター)

今富裕樹 (東京農業大学教授、森林利用学会会長)

後藤純一 (高知大学教授、前森林利用学会会長)

酒井秀夫 (東京大学前教授、前々森林利用学会会長、前ユフロ第3部会副コーディネーター)

Raffaele Cavalli (パドバ大学教授、RG3.06.00 コーディネーター)

Bruce Talbot 博士 (ノルウェーバイオ経済研究所、RG3.06.00 副コーディネーター)

John J. Garland (オレゴン州立大学名誉教授、元RG3.03.00 コーディネーター)

Hulusi Acar (カラデニッツ工科大学教授、トルコ)

Jean-Francois Gingras (カナダ林産試験場)

山田容三 (愛媛大学教授、RG3.03.00 コーディネーター)

ユフロ国際会議実行委員会：

実行委員長：山田容三（愛媛大学教授、RG3.03.00 コーディネーター）
主事：鈴木保志（高知大学准教授、RG3.06.00 副コーディネーター）
監事：長谷川尚史（京都大学准教授、森林利用学会常務理事）
実行委員：鹿島 潤（森林総合研究所四国支所）
愛媛大学大学院農学研究科長
高知大学農林海洋科学部長
林野庁四国森林管理局長
森林総合研究所四国支所長
愛媛県農林水産部森林局
高知県林業振興・環境部

合同アジア地域ミーティング日程：7/24～7/28

7/23（日）午後 受付、アイスブレイク
7/24（月）午前 受付、開会、基調講演
午後 研究発表、ウェルカムパーティー
7/25（火）午前 研究発表、ポスター発表、企業ブース展示
午後 全体会議、松山市内と道後観光
7/26（水）午前 久万高原町に移動、林内作業車による高密路網の伐出作業見学
午後 高知市に移動
7/27（木）午前 中土佐町に移動、H型架線作業見学
午後 高幡地域林業地見学、高知市に移動、フェアウェルパーティー
7/28（金）午前 タワーヤーダー作業見学、南国市に移動、全体会議、クロージング
午後 高知市内観光

大会言語：英語のみ

詳しくはホームページをご覧ください。

（オンライン登録：2016年12月27日～2017年5月31日）

<http://www.kochi-u.ac.jp/iufrojrm/>

発表申込と要旨締切り：2017年3月31日

アーリーバード（事前申込）締切り：2017年3月31日

論文締切り：2017年5月31日

参加費：

一般（全日程参加）：35,000円
一般（愛媛 or 高知のみ参加）：22,000円
同伴者：22,000円
学生（全日程参加）：17,000円
学生（愛媛 or 高知のみ参加）：11,000円

お問い合わせ先：

山田容三
愛媛大学大学院農学研究科
〒790-8566 愛媛県松山市樽味3丁目5-7
TEL：089-946-9665
FAX：089-946-9665
E-mail：yamada.yozo.fi@ehime-u.ac.jp